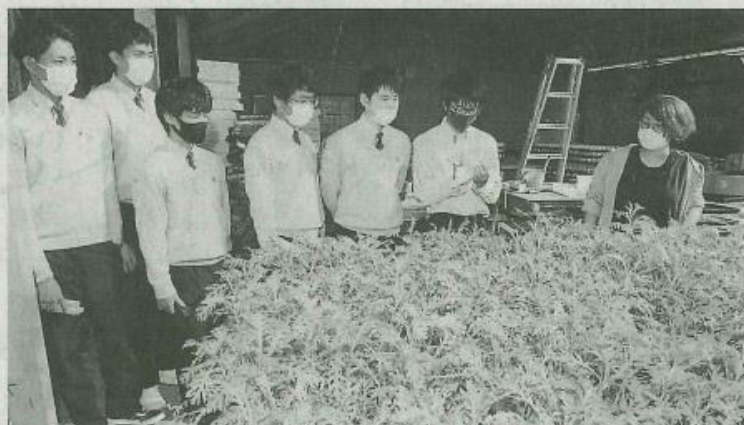


【高校取材授業】 地域企業の魅力を発信！森島農園さん取材しました！

高校生が農園取材 静岡県浜松市 ブログで発信へ



高林さんの説明で、シュンギクの水耕栽培を取材する浜松湖北高校の生徒（20日、静岡県浜松市東区で）

【静岡】県立浜松湖北高校の生徒が20日、浜松市東区の大規模な農業法人・森島農園を取材した。商業科の電子商取引の授業で取材し、撮影した写真や内容をコンテンツにまとめ、総合エネルギー会社・エネジンのホームページに掲載する。商業科の3年生40人

のうち、30人が電子商取引の授業を選択。同社の協力で地元企業を取材し、インターネットや印刷媒体で情報発信している。今回の取材は、エネジンと取引がある静岡県信連が仲介し実現した。森島農園は、小松菜を約3・5畝のハウスで周年栽培する他、5

畝の露地畑でキャベツなどの多品目の野菜を生産。稲も約25畝栽培している。

同日は生徒6人が訪れた。広報担当の取締役、高林千晴さん（44）が精米工場、小松菜の出荷調製作業、シュンギクの水耕栽培ハウスを案内。同法人のアイデア商品「らくらく防災ごはんセット」の使い方を実演した。

生徒はホームページ映える商品の撮り方を相談しながら写真を撮影した。今後、週1回の授業の中でブログに仕上げる。

エネジンは、企業の社会的責任（CSR）活動で同校に協力。ホームページで、生徒が作成した内容を紹介している。同法人の記事は12月ごろ掲載される見込みだ。

エネジン(株)の社員が講師をしている授業の一貫で、浜松湖北高校の生徒が地元農業法人・森島農園様取材しました。高校生が企業と直接話をする場があることで、仕事について学生が考えるきっかけになると同時に、高校生が地元の企業の魅力を発信することで地域活性化に繋げることが出来る取り組みです。随時更新される高校生の取材記事を載せたブログやチラシをぜひご覧ください！

令和3年(2021年)10月21日(土)

日本農業新聞掲載

